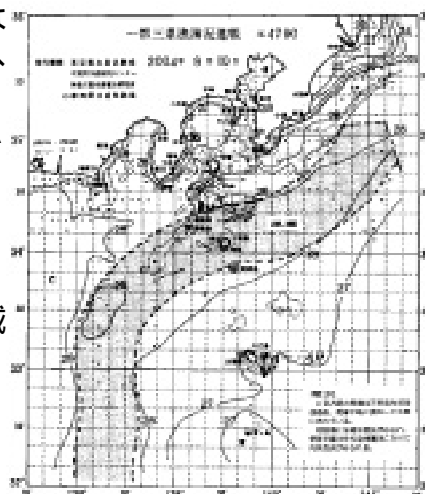


概況(図1, 表1)

8月9~11日に千葉丸(317ト)で沿岸定線観測を行った。黒潮流路は遠州灘沖 30°40'Nまで離岸した後、三宅島を通過し、房総沖を北東へ流れた。離岸距離は「やや接岸」であった。

黒潮の流型は、2002年以降N型基調が続いていたが、7月下旬頃にA型になった。



水温(表2, 図2・3・5)

海面では23~28, 100m深では15~20, 200m深では11~18であった。外房海域は「平年並」~「やや高め」、銚子・九十九里海域は「平年並」~「高め」であった。平年偏差は両海域ともに正の偏差で、特に銚子・九十九里海域の200m深では、4.03高かった。

塩分(図4・5)

海面では33.6~34.7, 100m深では34.6~34.8, 200m深では34.4~34.8であった。先月より海面と100m深で0.1~0.7低くなり、特に銚子・九十九里海域でその傾向が顕著であった。

流況(図1・2)

2ノット以上の流れは、20~50マイル沖で観測され、30マイル沖付近を中心に3ノット以上の流れが観測された。流向は概ね北東であった。

表1 房総沖の黒潮離岸距離(2004年8月)

基点	方向	距離(マイル)	階級
野島崎	南東	30	やや接岸
太東岬	南東	30	-
犬吠崎	南東	(35)	やや接岸

\*(数字)は海洋速報(海上保安庁海洋情報部)より

表2 水温の評価(2004年8月)

水深(m)	外房海域			銚子・九十九里海域		
	水温	平年偏差	評価	水温	平年偏差	評価
0	26.8	1.3	やや高め	25.2	0.5	平年並
50	19.90	1.02	平年並	20.18	1.33	平年並
100	17.92	1.67	やや高め	17.24	1.87	やや高め
200	14.50	2.23	やや高め	15.69	4.03	高め

\*水温は各海域の評価点の平均値

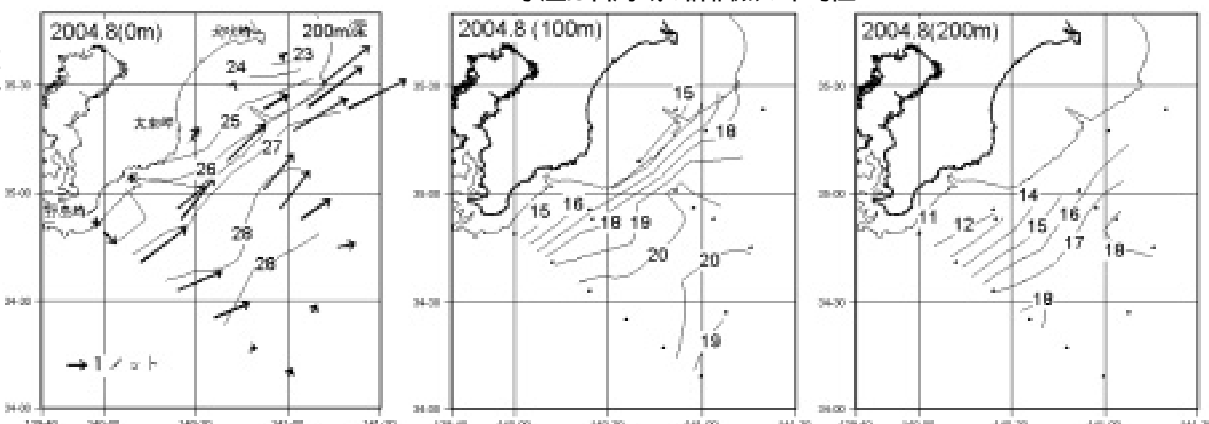


図2 水温と流向流速(5m深)の水平分布

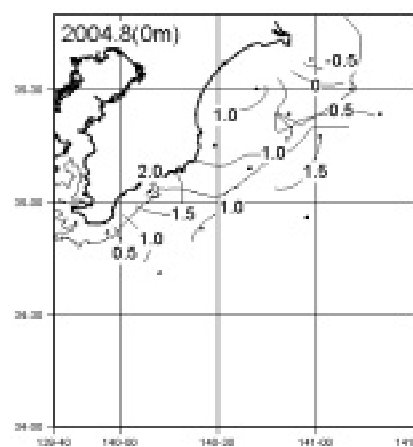


図3 水温の平年偏差

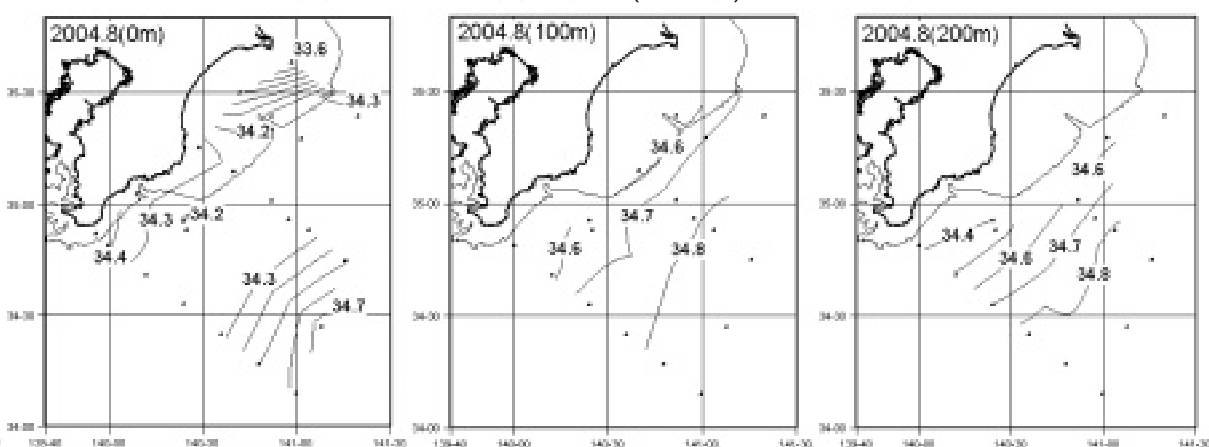


図4 塩分の水平分布

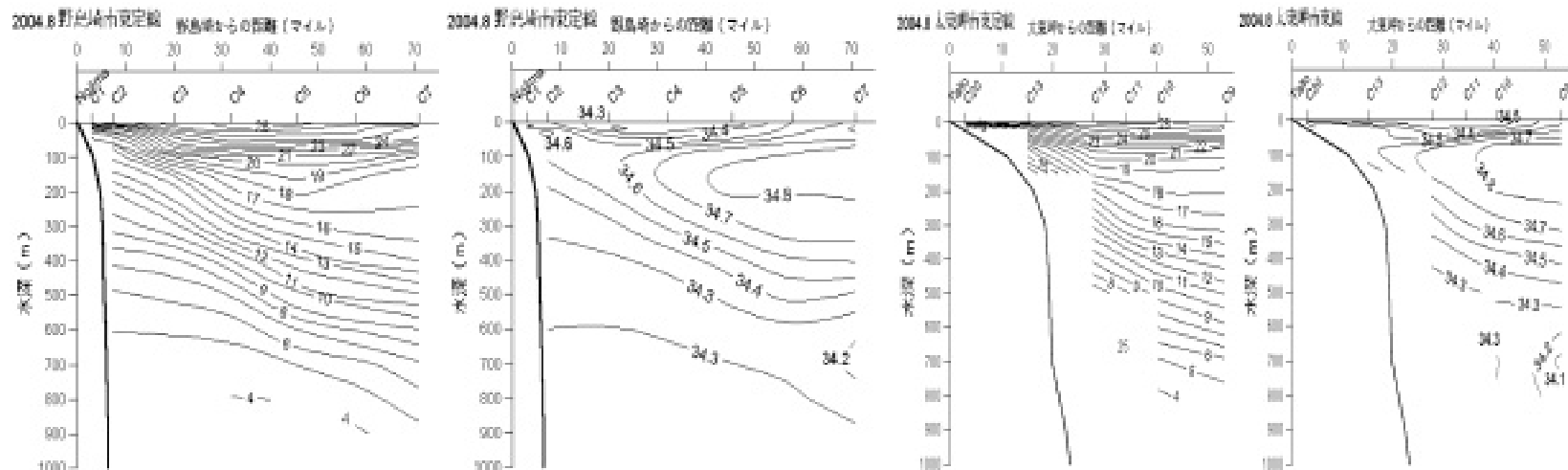


図5 水温と塩分の鉛直分布